

新たな病院整備
ポイント

- 震災前と大きく異なる双葉地域の医療需要や医療提供体制
- 復興のステージが進み、**医療需要の増加**が見込まれる

双葉地域の医療提供体制の中核を担う
新たな病院を整備

双葉地域における中核的病院の概要

コンセプト①

地域に密着し、連携の核となる病院

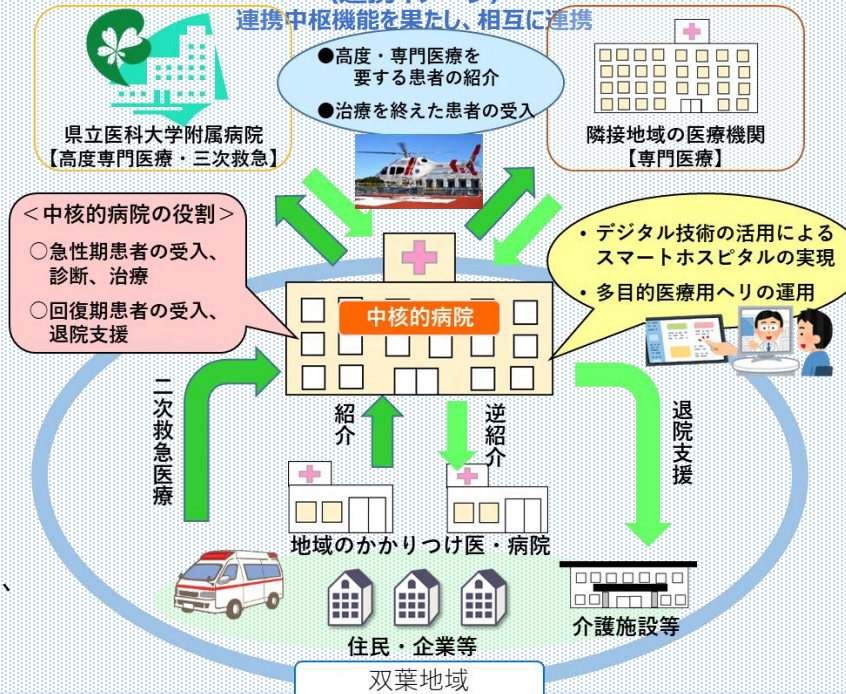
地域に必要な医療機能

- 地域ニーズに対応した医療の提供
- 地域包括ケアシステム構築支援
- 救急医療の提供
- 災害時における医療
- 新興感染症等への対応

地域に根差した医療

地域や隣接医療圏の医療機関との相互連携を強化し、地域のニーズに応え、切れ目のない医療を提供するとともに、地域とともに成長・発展

〈連携イメージ〉
連携中枢機能を果たし、相互に連携



コンセプト②

地域の発展に貢献し、医療従事者に魅力ある病院

地域の発展への貢献

- 福島国際研究教育機構（F-REI）の各研究分野との連携を視野に、地域の発展に貢献

医療従事者に魅力ある病院

- 充実した研究環境（ソフト及びハードの充実）による医療人材の確保
- 特色ある教育・人材育成プログラムによる専攻医や実習生等の受入

想定診療科 **20科**

- 内科（循環器、消化器、糖尿病、呼吸器）※1
- 整形外科※1
- 泌尿器科
- 小児科
- リハビリテーション科
- 総合診療科※2
- 救急科※3
- 耳鼻咽喉科
- 麻酔科
- 人工透析※4
- 脳神経外科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科※1
- 眼科
- 産婦人科
- 放射線科

※1 開院時の入院対応は、内科、外科、整形外科を想定
 ※2 院内標榜
 ※3 二次救急や休日夜間など地域の医療機関が開院していないときの急病、原子力災害医療への対応
 ※4 双葉地域の医療体制の整備状況（民間医療機関等での診療状況）を踏まえて対応

病床規模 **250床前後（開院時は100床前後）**

病床区分	機能	
一般	急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けた医療を提供
	回復期機能	急性期を経過した患者に対し、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供
感染症	感染症患者の受入	

復興の進展

人口増加

▶▶▶ 診療体制等を段階的に拡充

医療人材の確保

- 開院に向けて人材確保に取り組む
- 充実した研究環境や人材育成プログラムなどの**人材確保策を検討**

※職員的生活環境確保については、周辺自治体と連携

整備場所

所在：大熊町大字下野上字大野地内
 県立大野病院の敷地へ新築により整備する。



整備スケジュール（想定）

	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)	R10年度 (2028)	R11年度以降 (2029～)
基本構想	[Progress bar from R5 to R6]						
基本計画	[Progress bar from R5 to R7]						
調査、基本・実施設計	[Progress bar from R5 to R8]						
現病院解体（設計含む）	[Progress bar from R6 to R8]						
造成、建築工事（外構工事含む）	[Progress bar from R8 to R11]						

整備工程の精査などにより、できる限り早期の開院を目指す